



## 姫路市立坊勢小学校の取組 Part 2

前々回発行のNO, 23で紹介した姫路市立坊勢小学校の実践の続編です。

3日目の食材の買い出しと、4日目のオリジナルメニューによるチャレンジクッキングについて、事前指導や担任の先生の思いを紹介します。(担任の先生からの原稿をそのまま引用しています。)

まず、メニューを決める活動です。個々に土日の宿題で考えた「野外料理で作りたいメニュー」を班で持ち寄り、1つに絞りました。普通ではない、世界でたった一つのオリジナルメニューを考えました。(その際、野外料理で作るのに適したものか、生ものは入っていないかなどを教師が確認しました。)

次に、作るために必要な食材・調味料と分量調べです。一人一人が調べたものを班で持ち寄り、仮で買い出しリストを作りました。出そろった食材・調味料の値段を「こめやストア」に問い合わせ値段を確認した上で、各班が2,500円以内で収まるよう、リスト作りをしました。中には2,500円をオーバーする班もありましたが、オーバーしてしまった分を、別の班が快く引き受けて買い出しをしてくれることになり、子どもたちの心の広さが見られました。



買い出し当日は、予算内に買えるかどうか心配をしつつも、次の日に作る料理に胸を膨らませながら楽しんで食材を揃えることができました。自分が思い描いたものが店頭には並んでいなくても、分量や味を調節するなどして臨機応変に対応することを学ぶことができました。

野外炊飯は火おこしから行い、野菜切り、味つけ等全て自分たちの手で作り上げました。(肉・卵は、あらかじめ教師の方で火を通しました) 1から自分たちで考え、創造し、行動して、やっと完成した料理はどれも絶品!お互いの料理を食べ合い、「おいしい!」そして「ありがとう!」という声が飛び交いました。実はこのプログラムは「感謝祭」と題しており、まさに裏のねらいである“「ありがとう」の感謝の気持ちを伝える”これが料理を通して実現することができ、とても温かい時間となりました。



活動を通して、子どもたち自身が「自分たちで考え、創造し、行動する力がついた!」と実感できたことが何よりの成果です。そして、人として大切な「感謝の気持ちを表す」ことができたことは、これからの生活や家族の見方も変わるきっかけになることでしょう。1つの活動を行うのに時間はかかりますが、だからこそ、自然学校でしか体験できないことだし、成果もその分出ると実感しました。



## 子どもたちの成長

子どもたちは、自然学校実施期間中に、様々な活動や友だちとのふれあいを通して、日々成長していきます。その成長を手助けしているのが、「ふり返り」です。多くの学校が、子どもたちにその日全体を通しての感想や思い出を書かせています。坊勢小学校は、「日々の記録」の中で、担任の先生の思いのもと焦点化した「ふり返り」をさせています。子どもたちに、進むべき方向性を導いているのです。具体的な項目として、「発見! 仲間のキラリ☆」(友だちのいいところ見つけ)、「こんな『チカラ』がアップした!」「自分の『有言実行』達成

度は」(自己再発見)、「今日のベストショット！」(楽しかったことからの自分自身への励まし)、「今日のふり返り」(全体から明日への意欲付け)があります。そして、日によって違う項目があります。

(1日目)「出逢い」ー今日は、いろんな人に出会って初めはきんちょうしていたけど、自分からしゃべることができました。

(2日目)「団結」ーキャンプファイヤーの時、だんだん絆が深まってきたような気がしました。

(3日目)「挑戦」ーウォークラリーで道がわからない時、知らない人に聞くことができた。恥ずかしさはなくなった。そして、大きな声で「ありがとうございました」と言えた。

(4日目)「感謝」ー最後の夜。手紙をもらって、改めてお世話になった人にすごく感謝しました。



子どもたちの「日々の記録」には、多少の表現の違いはあるものの、同じような言葉が使われています。日数が経つにつれ、一日の中でも印象に残った活動が同じものになっているのです。子どもたちの感じ方がバラバラであったのが、一つにまとまっていっているのです。1日目は、色々な言葉が飛び交っていましたが、2日目からは「協力」「恥ずかしさがなくなって」という言葉が増え、4日目は「ありがとう」という言葉で溢れていました。最後の夜は、生活棟で「TEAM

パーティー」を行い、保護者からの手紙をもらい涙を流したり、班毎に曲に合わせて振付を考えてダンスをして盛り上がりたりして、良き思い出を作ったようです。先生と子どもたちで作り上げた自然学校が、無事終えようとして、子どもたちは達成感に満ち溢れた満面の笑顔だったそうです。



この日のふり返りには、「今日は、『ありがとう』の言葉は大切ということを学びました。これからは、クラスの中を『ありがとう』の言葉でいっぱいになりたいです」と書かれていました。

#### 自然学校でパワーアップしたこと

山本 早帆

私は、自然学校でパワーアップしたことが三つあります。

一つ目は、反応する力です。自然学校に行く前は、先生に「反応しなさい」と言われないと出来なかったのに、自然学校から帰ってきてから、「反応しなさい」と言われなくてもできるようになったことです。

二つ目は、5分前行動です。5分前行動を忘れていたけど、自然学校に行く前と比べてみると、自然学校に行った時の方が5分前行動は気をつけていたと思います。

三つ目は、できることはやることです。私は、最初からもう無理やーと思ってやりませんでした。でも、自然学校に行っている時、やってみたら、うれしいことや楽しいことが待っているんだと気づきました。でも、つらいことや悲しいことも待っているんだなと思うけど、それを乗り越えていけばいいんだなと思ったので、自分でできることはやってみることが多くなりました。私は、自然学校に行って本当に良かったと思います。

#### 編集後記

今回は、姫路市立坊勢小学校の指導者の意図や子どもたちの「日々の記録」から見た成長ぶりを紹介しました。子どもたちは、普段から学校の先生だけでなく、たくさんの大人に支えられ生活している様子がわかりました。それを体感する場が、自然学校となったようです。子どもたちが、さらに感謝の気持ちを忘れず成長することを望みます。(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)